

米海軍横須賀基地のPFOS（ピーフォス）等に係る  
国からの説明（第7報）及び  
在日米海軍司令官とのテレビ会議について

1. 日 時 令和5年（2023年）7月10日（月） 15：00～15：20
2. 来 訪 者 防衛省南関東防衛局 山野 徹 局長  
防衛省南関東防衛局 上谷 康晴 企画部長  
防衛省地方協力局環境政策課 岡田 英之 総括企画専門官
3. 対 応 者 市長  
市長室市長特命参与  
国際交流・基地政策課長
4. 来訪の目的 PFOS等の流出に係る説明のため

5. 概 要

（1）防衛省南関東防衛局からの説明要旨

本日は、昨年12月の環境補足協定に基づく横須賀海軍施設への立入り時に横須賀市、国、在日米軍の3者で実施した提供水域内3か所でのサンプリングの分析結果等について、ご説明に伺った。

昨年12月15日に横須賀海軍施設の提供水域内において実施した、3者（市、国、在日米軍）によるサンプリングの分析結果について

別紙2「国、横須賀市、在日米軍が実施した、横須賀海軍施設の提供水域内3地点の海水の分析結果」のとおり、3地点のサンプリングの分析結果としては、PFOSとPFOAの合算値は最大で3.2ng/Lであり、水環境中の暫定指針値である50ng/Lを下回るものだった。

本年3月20日に南関東防衛局が実施した提供水域外のサンプリング分析結果について

別紙3「横須賀海軍施設のPFOS等を含む排水に関する周辺海域の分析結果について」のとおり、南関東防衛局が実施した提供水域外の3地点におけるサンプリングの分析結果はPFOSとPFOAの合算値で2.9ng/L～3.8ng/Lであり、こちらについても暫定指針値を下回っている。これまでに実施してきた分析の結果と比較して、特段の変化は見られなかった。

## 米側において実施している粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果について

米側は、昨年11月の粒状活性炭フィルター設置以降、同フィルターを通過した後の排水のサンプリングを行っているが、その結果は暫定指針値を下回るものであり、本年1月6日、1月20日ともに 定量可能な成分量未満を意味するN.D. (not detected : 不検出)であったとのこと。

なお、米側からは、

- ・フィルター設置による効果が確認できたことを踏まえ、今後、サンプリングの分析結果を日本側に提供する考えはないが、引き続き施設の維持管理を適切に行う、
- ・特異な状況が確認された場合には、遅滞なく日本側に情報提供する、との説明を受けている。

防衛省としても、米側による粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果や、防衛省等が周辺海域で実施しているサンプリングの分析結果が暫定指針値を下回っている状況から、同フィルターが完全に機能していると考えている。

引き続き、米側において、排水処理施設やフィルターを適切に管理することにより、横須賀港に暫定指針値を上回る水が排出される可能性は低いと考えている。

上記説明内容を含め、東部漁協にはご説明させていただく予定である。

### (2) 説明を受けての上地市長の発言要旨及び確認事項

3者でサンプリングした提供水域内の分析結果が暫定指針値以下であったこと、また、1月に米側において実施している粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果が不検出であったことは理解した。

そのうえで、何点か確認させていただく。

### 3者でサンプリングした提供水域内の分析結果について

(市長)

昨年12月15日に3者サンプリングを実施しているが、それから半年以上の時間が経過している。説明までに、これだけの時間を要したのは何故か。

(南関東防衛局長)

昨年12月のサンプリングからご説明までに時間を要してしまっただが、これまで分析の過程等について日米で確認しつつ、分析結果の公表について日米合同委員会で合意するとともに、公表方法なども協議し、今般、調整が整ったところである。

(市長)

日米合同委員会で公表について合意したとのご発言があったが、いつ、どのような内容で合意されたのか。

(南関東防衛局長)

日米合同委員会の開催日程については、両政府間の合意なしに明らかにできないことから、お答えできないことを御理解いただきたい。

その上で、合意した内容については、昨年12月15日、横須賀市、国、在日米軍の3者が横須賀海軍施設で実施した提供水域内3か所でのサンプリングの分析結果を、別紙2のとおり公表するというものである。

(市長)

分析結果について、在日米軍のみ不検出(N.D.)という結果だが、同一地点で採水を行っているのに分析結果に差が出るものなのか。

(南関東防衛局長)

一般論として、個々の分析の結果は、分析手法、分析機材の違い等により数値に差異が出る可能性があるが、いずれにしても、日米双方の分析結果は、日本の水環境中の暫定指針値を下回っている。

#### 粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果について

(市長)

「米側において実施している粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果について、今後、サンプリングの分析結果を日本側に提供する考えはない」との説明が米側からあったとのことだが、これは日米合同委員会で合意されたものなのか。

また、このことについて、国としての見解をお聞きしたい。

(南関東防衛局長)

米側の説明については、日米合同委員会で合意されたものではなく、日米間の調整を行う中でそのように説明を受けたものである。

いずれにせよ、繰り返しになるが、防衛省としては、米側による粒状活性炭フィルター通過後のサンプリングの分析結果や、防衛省等が周辺海域で実施しているサンプリングの分析結果が暫定指針値を下回っている状況から、同フィルターが完全に機能していると考えている。

また、引き続き、米側において、排水処理施設やフィルターを適切に管理することにより、横須賀港に暫定指針値を上回る水が排出される可能性は低いと考えている。

## 原因究明について

(市長)

原因究明の状況はどうなっているか。

(南関東防衛局長)

米側は、原因究明のため

- ・排水処理施設内の目視点検や施設内の消火設備の点検
- ・関係者への聞き取り等の調査
- ・排水処理施設の入口・出口やフィルターの前後におけるサンプリング

といった措置を実施してきているが、排水処理施設は、極めて大規模な横須賀海軍施設の全ての排水を処理しているため、原因を特定することは困難である旨の見解を示している。

米側は、排水処理施設内の汚泥を今後も定期的に除去・処分し、引き続き、排水処理施設を適切に管理するとともに、再発防止及び施設の安全管理に努める考えとのこと。

(市長)

私は、市民の安全・安心は当然として、米軍基地で暮らす方々、働く方々にとっても、環境や人の健康に関する問題は、重要であると考えている。

原因究明が困難であるということであれば、定期的なサンプリングの実施の継続も含め、排水処理施設やフィルターを適切に管理し、特異な状況が確認された場合には遅滞なく情報提供していただくよう、強く求める。

(南関東防衛局長)

御指摘の点については、重く受け止めているので、万一、特異な状況が確認された場合には、遅滞なく情報提供するなどしっかり対応する。

## JEGS[ジェグス]について

(市長)

前のご説明の際、在日米軍が策定する環境保護等の取組に係る基準であるJEGSに、PFOS等の排水基準を定めるべきであるとの要請させていただいた。この要請についてどのような状況となっているのか教えていただきたい。

(南関東防衛局長)

ご承知のとおり、JEGSは、日米の関係法令または国際約束の基準のうち、より厳しい基準を選択することを基本的な考えの下、日米両政府は、JEGSを見直し、2年ごとに更新するための協力をするとのこととされている。

現時点で、日本及び米国の関係法令並びにその他の国際約束においてP F O S 及びP F O A に関する排水基準等が定まっておらず、今後、日本国内及び米国を含む国際的な動向を踏まえて、日米間で協議していくこととなると認識しているが、防衛省としても横須賀市から頂いたご要請等を米側に伝えるとともに、環境省や外務省と連携し、しっかりと対応してまいりたいと考えている。

なお、現在、環境省において、本年1月に設置された2つの専門家会議の中で、海外の状況等も踏まえながらP F O S 等に係る議論が行われていると承知している。同専門家会議では、P F O S 等に係る水質の目標値等の数値やあり方についても議論が行われていると承知している。防衛省においても、関係省庁と緊密に連携しながら、引き続き必要な対応を行ってまいりたいと考えている。

(市長)

J E G S の改定は、国全体でしっかりと取り組んでいただきたい。

(南関東防衛局長)

繰り返しになるが、防衛省としても、環境省や外務省と連携し、しっかりと対応してまいりたい。

以上

## 《在日米海軍司令官とのテレビ会議について》

本件については、同日、以下のとおり、市長が在日米海軍司令官ラティ少将とテレビ会議を実施しました。

日時：令和5年（2023年）7月10日（月） 16：30～16：45

### 在日米海軍司令官

- 昨年12月15日に横須賀海軍施設の提供水域内において、横須賀市、国、在日米軍のそれぞれが実施したサンプリングについて、在日米軍のサンプリング結果は、3地点とも定量可能な成分量未満を意味するN.D. (not detected：不検出)であった。
- 昨年11月の粒状活性炭フィルター設置以降、同フィルターを通過した後の排水のサンプリングを行っている。なお、1月のサンプリング結果は全てN.D.であった。
- これまでのサンプリング結果を踏まえると、フィルターは完全に機能している。このため、1月の結果をもって、サンプリングの分析結果を日本側に提供する考えはないが、引き続き、施設の維持管理を適切に行う。
- 特異な状況が確認された場合には、遅滞なく日本側に情報提供する。
- 原因究明について
  - ・ 排水処理施設内の目視点検や施設内の消火設備の点検
  - ・ 関係者への聞き取り等の調査
  - ・ 排水処理施設の入口・出口やフィルターの前後におけるサンプリングといった措置を実施してきているが、排水処理施設は、極めて大規模な横須賀海軍施設の全ての排水を処理しているため、原因を特定することは困難であると考えている。しかしながら、排水処理施設内の汚泥を今後も定期的に除去・処分し、引き続き、排水処理施設を適切に管理するとともに、再発防止及び施設の安全管理に努めたいと考えている。

### 市 長

- 私は、市民の安全・安心は当然として、米軍基地で暮らす方々、働く方々にとっても、環境や人の健康に関する問題は、重要であると考えている。
- そのような中で、ラティ少将からの、「フィルターは完全に機能している」という発言があったことについては評価したい。
- 定期的なサンプリングの実施の継続も含め、排水処理施設やフィルターを適切に管理するよう求める。
- 万一、特異な状況が確認された場合には遅滞なく情報提供するよう求める。

以上